

WWW の検索による日本語研究

萩 野 綱 男・加 藤 彩
本 多 さやか・谷 口 香 織

1. はじめに

1-1 論文の成り立ち

この論文は、4人の共著であるが、1. は萩野が、2. は加藤が、3. は本多
が、4. は谷口がもっぱら執筆し、最終的なとりまとめまでは相互にコメントし、
相談し、手を入れてできあがったものである。

このような論文を書くに至った経緯を説明しておこう。2004 年度に萩野が東京
女子大学で行った授業（国語学特殊講義）の前期分では、WWW を検索して日本
語の研究を行うことをテーマにした。受講者には最終的にレポートを書いても
らったが、その中で、特に有意義なもの、第三者に読んでいただきたいもの、他
の人に示唆を与える可能性のあるものをピックアップし、内容を圧縮して公表す
ることにした。

1-2 授業の内容とレポート

半年間の授業では、WWW の検索による日本語の研究を取り上げた。

WWW の検索は、検索エンジンを用いて行うが、そのためには、まず検索エン
ジンについて詳しく見ておかなければならない。検索エンジンの仕組みの講義を
行うとともに、受講者が手分けして現在の日本語の検索エンジンを網羅的に探し、
それぞれの特徴を調べた。その上で、代表的な検索エンジンを数種類に絞り込み、
具体的な検索結果を検討し、日本語研究に向いているエンジンを調べた。萩野が
1 年前に行った検討結果 [1] とはやや違う結果になった。検索エンジンもいろい
ろ変遷があることがうかがえる。

講義と並行して、受講者にはレポートを課した。課題は「適当な日本語学の論
文を取り上げ、そこに書いてあること（言語事実）を WWW を検索して確認せ

よ」というものであった。

受講者の選んだ論文およびテーマについて、事前に検討し、うまくいきそうなものには荻野がゴーサインを出した。(そうでない場合は再提出してもらった。)したがって、今回の共著論文の内容についても、加藤・本多・谷口のテーマの選択はすべて各自の発意によるものである。

1-3 WWW の検索の意義

WWW は、今や膨大な言語データベースとして使えるようになった。その言語量は、新聞換算ではほぼ一千年分と推定されている [1,2]。

検索エンジンを経由すれば、簡単に大量の用例が入手できるので、WWW は用例データベースとしてきわめて有用である。また、ごく短時間に (秒のオーダーで) 検索ができてしまうので、言語事実をすぐに確認できるということになる。したがって、他人の論文を読むときの参照資料としても使える面がある。実際、荻野が他人の論文を読むときに、パソコンの前で読むことが多いが、必要に応じて WWW で用例を確認しながら読んでいる。これは荻野だけの経験ではなく、今や多くの言語研究者がそのようにしているようである。田中 [3] はこれを「とりあえずネット検索状態」と呼んでいる。

このような有り様は、言語研究のしかたを大幅に変えてしまった。紙で言語の用例を探していた時代は、用例を探すこと自体に膨大な手間がかかった。電子化資料が (主として CD-ROM で) 使えるようになって、状況は改善されたが、なお、言語資料としては十分でなく、量を増やそうとすると多大なコストがかかった。また、それぞれの電子化資料ごとに形式が違っていて、使うソフトが別だったり、形式をそろえるために独自のソフトを開発したりするという手間がかかった。WWW はそれらの諸問題を解決してしまった。誰でも簡単に利用でき、十分な用例が入手できるようになってしまった。WWW の検索は、卒業論文などでも活用されるようになってきている [4]。

これからの言語研究は、資料収集に時間をかけるのではなく、その先の分析・考察に時間を振り向けるべきだろう。

また一方では、WWW が使えなかった時代に書かれた論文についても再検討が必要のように思う。当時としては資料不足で満足のいく調査が行えなかったものでも、現在 WWW を活用すればたちどころに可能になるテーマはいくらでもある。その意味で、研究の入門者としての現在の学生諸君が、以前の研究者による

研究を超えることは可能だし、有意義である。

この論文に収録した三つの考察は、いずれもその意味で有意義なものであると判断する。

1-4 WWW の検索の問題点

WWW の検索に頼ってばかりだと、弊害もある。以下、気が付いた点をいくつか指摘しておく。

第1に、WWW は、いつも「正しい」結果を返すものではないということがある。用例があるということと、それが正しいということは違うのである。WWW では誤用例が正用例よりも多いなどということが普通にある。たとえば、「怒り心頭に〜」といえは「発する」が正しい言い方である。しかし、実際に WWW を検索してみると「達する」が圧倒的に多い。

第2に、WWW に掲載されている内容は、ジャンルがさまざまということである。非常にくだけた話し言葉のスタイルから、改まった書き言葉、方言、古典語まで、さまざまなものが混在している。書き言葉スタイルが多いようだが、わずかしかなようなスタイルでも、全体の量が膨大であるため、結果的に多数の用例が見つかる。したがって、分析するときには、個々の用例を具体的に見ていくプロセスが欠かせない。

第3に、WWW は偏りがあるということである。上述のように、WWW には、さまざまなものが混在しているのだが、WWW の利用者の特性を反映して、比較的若い人が書いたものが多く、また、執筆時期は最近のものが多い。年配の人が（やや古い時代に）書いたものは、紙で公表されるケースが多く、WWW では少ないようだ。このような偏りにも注意を払う必要がある。

1-5 WWW 検索の副次的効果

コーパス言語学の入門として、WWW を活用することは大いに効果がある。学生諸君は、ある意味で研究の入門者であるが、そういう人にとって WWW は身近にある資料として実に扱いやすい。言語および言語研究のおもしろさを実感するのにこんな便利なものはない。研究は、長い時間をかけて苦しみながら行うものではなく、もっと手軽に実行し、おもしろいことを発見するべきである。そういう楽しさを経験することで、言語研究に取り組む人が増えることは望ましいことである。

今回の授業およびレポートは、そういう意味で、学生諸君にとって楽しいものになったのではないかと思う。単に個人的にそう思うだけでなく、学期末に行った受講者対象のアンケートでの記入状況からもそのように受け止められたことがわかった。

今回、学生諸君のレポートを書き直して収録・公表するわけだが、当然のことながら、研究として考えれば、言語事実の確認では不十分である。新たな言語事実が確認されたことで、新たな考察が行われるべきであるし、それこそが研究である。

しかし、今までに行われてきたさまざまな研究において、そもそも論を組み立てる前提としての言語事実の部分で、十分な証拠によらずに考察している例が非常にたくさんある。

そういうものを検証・検討していくことは、比較的手軽にできるという意味で、研究の入門者としての学生にも可能であり、その過程そのものが有意義である。また、言語事実が確認されない（逆の事実が確認された）場合、先行研究がひっくり返ることがあることが経験できる。これもまた研究とは何かを理解する上で貴重な経験であろう。

言語研究の一部として、WWW の検索がもっと一般化することを願っている。

1-6 3人の執筆内容の簡単なまとめとコメント

加藤彩「「電話」は「かける」か「入れる」か」は、電話に関連して使われる動詞を検索している。

小説家の書いたものに反論することに意味を認めない考え方もあるかもしれない。しかし、書いた人がどんな人かということを考慮してものごとを考えるべきではない。書き手が誰であれ、書かれたもの（公開されたもの）はすべて批判の対象になりうる。

辞書と検索エンジンを利用したことで、それぞれの特徴もわかった。また、「かける」と「入れる」では、共起する「電話」への修飾という点で違いがあるということ加藤の発見した新事実である。両者の用法の違いということは、いわば意味の違いのようなものであり、単にどちらが多く使われるかということではないということを述べたことは興味深い結果である。

本多さやか「程度副詞と体言修飾—「昔」を修飾する程度副詞—」は、先行研究によって共起しないとされている「すこし昔」や「やや昔」「ちょっと昔」が、

実は共起するということを示している。WWW の利用法としては、簡単でしかも効果的な例である。このケースでは、程度副詞が「昔」を直接修飾しない例も多数検索されてくるため、個別の用例の検討が欠かせないが、その点も確認してあるので、この結果は妥当なものであるといえよう。

元の論文が 1992 年のものであるから、当時は、手近に使える十分な量のコーパスがなかったものと推定されるが、それにしても、何に基づいてこのように判断したのかというような問題は残る。

谷口香織「「パーマをあてる」は関西特有の表現であるか」は、題名通りの内容である。地域差（方言差）については、WWW では調べられないというような否定的意見を聞くことがあるが、そんなことはない。用例の周辺をじっくり見ればどの地域のことであるかわかる例がたくさんあり、それらを集計することで分布範囲はかなり確実に把握できるものである。この手法は、コストをかけずに全国分布がわかるという点で、誰でも行える方法であり、有望な手法であるといえる。

参考文献

- [1] 荻野綱男 (2004.2) 「各種検索エンジンの実態と特徴」 日本語学 Vol.23, No.2
- [2] 松井くにお (2004.2) 「検索ロボット技術を活かした WWW 検索技術」 日本語学 Vol.23, No.2
- [3] 田中ゆかり (2003.4) 「ネット検索は言語の研究に有用か」 日本語学 4 月臨時増刊号, Vol.22, No.5
- [4] 田野村忠温 (小川雪緒・片桐千佳・丸尾佳代) (2001) 「インターネットを利用した日本語の実態調査 —— 2000 年度卒業論文より ——」 『大阪外国語大学におけるネットワークの活用とセキュリティ』 大阪外国語大学

2. 「電話」は「かける」か「いれる」か？

2-1 テーマ

『「電話を入れる」』という言葉を使う人がいるが、電話は入れるものではなく、かけるものである。あれは新聞記者などが、『社に一報を入れる』というところから転用された言い方だろうが、『電話をかける』が正しい」(『日本語の乱れ』 著者・清水義範 集英社)

「電話」は「かける」のか「いれる」のか、辞書と WWW 両方の観点から調査し、両者の違いを考察する。

2-2 辞書

全18冊の辞書(調査対象辞書一覧は末尾に示す)を用い、見出し語「電話」、「かける」、「いれる」の用例を調べる。

まず、見出し語「電話」について、17冊の辞書から、「電話をかける」もしくは「電話をいれる」の用例が載っているか調べる。その結果を以下に示す。(ここで17冊としたのは、『基本動詞用例辞典』(辞書一覧⑰)には「電話」の見出しがなく、除外したためである。)

見出し語「電話」

| | |
|----------------------|-----|
| 「かける」、「いれる」両方の例文がある。 | 2冊 |
| 「かける」のみ例文がある。 | 10冊 |
| 「いれる」のみ例文がある。 | 0冊 |
| 「かける」、「いれる」両方の例文がない。 | 5冊 |

以上の結果より、見出し語「電話」では「かける」の方が辞書に「電話を～」の用例が載せられている。また、上記の用例は全て「かける」はひらがな表記で、「いれる」は漢字表記であった。

次に、見出し語「かける」、見出し語「いれる」について、18冊の辞書から、「電話をかける」もしくは「電話をいれる」の用例が載っているかそれぞれ調べる。その結果を以下に示す。

見出し語「かける」、「いれる」

| | |
|----------------------|-----|
| 「かける」、「いれる」両方の例文がある | 12冊 |
| 「かける」のみの例文がある。 | 2冊 |
| 「いれる」のみ例文がある。 | 3冊 |
| 「かける」、「いれる」両方の例文がない。 | 1冊 |

以上の結果より、見出し語「かける」、見出し語「いれる」では、「電話をかける」、「電話をいれる」の用例が同程度載せられている。

2-3 WWW 検索

検索エンジンはGoogle (<http://www.google.co.jp/>) を使用する。(検索日:2004年7月10日(土)、言語:日本語)

まず、それぞれの活用ごとに「かける」、「いれる」の検索性数を調べ、検索性数の

合計数を出し、「かける」、「いれる」の用例数を比較する。

検索方法は、「電話を～」をキーワードとして、「～」には「かける・掛ける」、「いれる・入れる」の活用形を入れる。活用語尾は「—ない、—よう、—たい、—ます、—た、—て、終止形、—ば、命令形」を使用し、動詞は、漢字とひらがな両方検索する。結果を表1に示す。

表1「電話を～」の活用ごとの検索数

| 語尾 | かける | 掛ける | 合 計 | いれる | 入れる | 合 計 |
|----|---------|--------|---------|-------|--------|--------|
| ない | 892 | 206 | 1,098 | 28 | 251 | 279 |
| よう | 2,760 | 295 | 3,055 | 67 | 609 | 676 |
| たい | 1,760 | 192 | 1,952 | 19 | 97 | 116 |
| ます | 3,650 | 341 | 3,991 | 215 | 605 | 820 |
| た | 28,200 | 3,730 | 31,930 | 677 | 12,500 | 13,177 |
| て | 59,700 | 9,310 | 69,010 | 547 | 12,200 | 12,747 |
| る | 79,600 | 7,510 | 87,110 | 824 | 16,000 | 16,824 |
| れば | 1,500 | 210 | 1,710 | 21 | 301 | 322 |
| ろ | 232 | 45 | 277 | 15 | 109 | 124 |
| 合計 | 178,294 | 21,839 | 200,133 | 2,413 | 42,672 | 45,085 |

表1から、「かける・掛ける」の使用例は「いれる・入れる」よりも多く、「かける」はひらがな表記の方が、「いれる」は漢字表記の方が使用されていることがわかる。以下では、表記の差をまとめて、「かける・掛ける」を合わせて「かける」、「いれる・入れる」を合わせて「入れる」とする。

また、「入れる」は、「確認の」、「苦情の」、「完了の」など、「～の電話」の用例が目立った。

- (1) ホテル側は予約した人の携帯電話に確認の電話をいれることでいたずらを防げるとしている。(http://www.yomiuri.co.jp/net/news/20030710ij81.htm)
- (2) それでも、改善しなければ、NY市に苦情の電話をいれることができる。(http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Oasis/5234/Whatsupny/cold.html)
- (3) 誰も苦情の電話を入れないんです
(http://www.asayan.com/bbslog/log.cgi?dir=morning&page=1431&tree1=wvynoe)
- (4) 会社に仕事完了の電話を入れる頃

ここで、「の電話をかける（掛ける、いれる、入れる）」をキーワードに検索し、「かける」、「入れる」の検索数の合計を出し、「電話」への修飾率（各用例中で「電話」が「～の」で修飾される割合）を出して比較する。

検索方法は、「の電話を～」をキーワードとして、「～」には「かける・掛ける」、「いれる・入れる」の活用形を入れる。活用語尾は「～ない、～よう、～たい、～ます、～た、～て、終止形、～ば、命令形」を使用し、動詞は、漢字とひらがな両方検索する。結果は表2の通りである。

表2 「の電話を～」の活用ごとの検索数、修飾率

| 語尾 | かける | | | 入れる | | |
|-----|-------|---------|------|--------|--------|-------|
| | の電話を～ | 電話を～ | 修飾率* | の電話を～ | 電話を～ | 修飾率 |
| ない | 59 | 1,098 | 5.4% | 114 | 279 | 40.9% |
| よう | 191 | 3,055 | 6.3% | 357 | 676 | 52.8% |
| たい | 82 | 1,952 | 4.2% | 68 | 116 | 58.6% |
| ます | 150 | 3,991 | 3.8% | 484 | 820 | 59.0% |
| た | 2,137 | 31,930 | 6.7% | 4,725 | 13,177 | 35.9% |
| て | 2,227 | 69,010 | 3.2% | 2,602 | 12,747 | 20.4% |
| る | 3,261 | 87,110 | 3.7% | 5,089 | 16,824 | 30.3% |
| れば | 38 | 1,710 | 2.2% | 75 | 322 | 23.3% |
| ろ | 12 | 277 | 4.3% | 60 | 124 | 48.4% |
| 合 計 | 8,157 | 200,133 | 4.1% | 13,574 | 45,085 | 30.1% |

*修飾率＝「の電話を～」の活用ごとの用例数÷「電話を～」の各活用ごとの用例数×100

表2より、「電話を～」の文では、「入れる」の方が修飾率が高く「の電話を～」の使用例が多いことがわかる。

次に、「～の電話をかける（掛ける、いれる、入れる）」の「～」の部分にはどんな言葉が入るのかを調査し、「かける」、「入れる」を比較する。

具体的には、「の電話を～」と検索した検索結果の「かける」、「掛ける」、「いれる」、「入れる」のそれぞれの活用の用例の中から、上位10件に表示されたものを取り出し、「～の電話をかける（掛ける、いれる、入れる）」の「～」の部分にあ

たるものを調べる。用例が多い順に5個ずつ結果を示す。()内は用例数である。

「かける・掛ける」(全56種類)

「問合せ」(13)、「抗議」(12)、「お礼」(10)、「苦情」(9)、「確認」(9)

「いれる・入れる」(全36種類)

「確認」(44)、「予約」(29)、「断り」(19)、「キャンセル」(10)、「完了」(10)

以上の用例が多い全9語(「確認」は両方の動詞の用例の上位に現れていたため、全9語を取り出す)について、「～の電話」で修飾されていた比率を「かける」の比率の高い順に並べたものが表3である。

表3 「～の電話をかける(掛ける、いれる、入れる)」の検索数、比率

| | かける | | 入れる | | 合計 |
|-------|-----|-------|-----|--------|----|
| | 実数 | 比率** | 実数 | 比率 | |
| 問 合 せ | 13 | 92.9% | 1 | 7.1% | 14 |
| お 礼 | 10 | 71.4% | 4 | 28.6% | 14 |
| 抗 議 | 12 | 66.7% | 6 | 33.3% | 18 |
| 苦 情 | 9 | 50.0% | 9 | 50.0% | 18 |
| 断 り | 4 | 17.4% | 19 | 82.6% | 23 |
| 予 約 | 6 | 17.1% | 29 | 82.9% | 35 |
| 確 認 | 9 | 17.0% | 44 | 83.0% | 53 |
| キャンセル | 2 | 16.7% | 10 | 83.3% | 12 |
| 完了 | 0 | 0% | 10 | 100.0% | 10 |

**比率=実数÷合計×100

表3から、「問合せ」、「お礼」、「抗議」は「かける」を使用し、「断り」、「予約」、「確認」、「キャンセル」、「完了」は「入れる」を使用する傾向があることがわかる。「苦情」については同程度使用している。「入れる」の結果においては、「断り」、「予約」、「確認」の用例が全体の76%を占めている。

次に、「国際電話」、「留守番電話」、「脅迫電話」、「いたずら電話」、「予約電話」、「確認電話」は、「～電話」によって動詞「かける」、「入れる」の頻度に差があった。

そこで、「国際電話」、「留守番電話」、「脅迫電話」、「いたずら電話」、「予約電話」、「確認電話」に関して、「かける」、「入れる」の頻度を調べる。

検索方法は、「～をかける(掛ける、いれる、入れる)」をキーワードとして、「～」には、「国際電話」、「留守番電話」、「脅迫電話」、「いたずら電話」、「予約電話」、「確認電話」を入れる。表3と同様にして、結果を表4に示す。

表4 「～をかける(掛ける、いれる、入れる)」の検索数、比率

| | かける | | 入れる | | 合計 |
|--------|------|-------|-----|-------|------|
| | 実数 | 比率 | 実数 | 比率 | |
| いたずら電話 | 275 | 99.3% | 2 | 0.7% | 377 |
| 脅迫電話 | 677 | 98.5% | 10 | 1.5% | 787 |
| 国際電話 | 5183 | 98.4% | 83 | 1.6% | 5366 |
| 留守番電話 | 9 | 26.5% | 25 | 73.5% | 134 |
| 予約電話 | 77 | 23.3% | 253 | 76.7% | 430 |
| 確認電話 | 33 | 17.1% | 160 | 82.9% | 293 |

表4より、「いたずら電話」、「脅迫電話」、「国際電話」は「かける」を使用しており、「留守番電話」、「予約電話」、「確認電話」は「入れる」を使用する傾向がある。

2-4 辞書とWWW検索の結果比較

「電話を」の動詞の使い分けについては、WWW検索においては、「かける」、「入れる」では、「かける」の方が頻度が高い。これは、見出し語「電話」の例文の有無においては、「かける」の方が例文が多いという同じ結果が出ているが、見出し語「かける」、「いれる」においては、同程度の例文が記載されているという結果と異なる。

また、動詞の表記については、WWW検索においては、「かける」はひらがな表記、「入れる」は漢字表記の方が頻度が高い。これは、辞書の「電話」の項目で調べた結果と同じ結果である。

さらに、WWW検索において、「かける」は「問合せの電話」、「お礼の電話」、「抗議の電話」、「いたずら電話」、「脅迫電話」、「国際電話」に使用され、「入れる」は、「断りの電話」、「予約の電話」、「確認の電話」、「キャンセルの電話」、「完了の電話」、「留守番電話」、「予約電話」、「確認電話」に使用される傾向があることがわかった。

「WWW上のデータは日々刻々と更新・追加されているので、新しく生じつつあ

る言語現象が早期に反映される可能性が大きい」[服部2004]が、辞書はそうではない。辞書とWWW検索の結果が異なるのは、辞書が正しい用法を載せているのに対し、WWW検索では正しい用法と関係なく、今現在使用されているそのままの形が反映されていることにあると考える。

2-5 参考文献

清水義範 (2003)『日本語の乱れ』 集英社

服部匡 (2004)「WWW 検索と日本語研究への応用」(『日本語学』vol.23, No.2)

〈辞書一覧〉

- ① 三省堂国語辞典 第5版第1刷 2001年3月1日 三省堂
- ② 新明解国語辞典 第4版革装第1刷 1989年11月10日 三省堂
- ③ 岩波国語辞典 第6版デスク版第1刷 2000年11月17日 岩波書店
- ④ 国語辞典 改訂新版 第1刷 1997年2月10日 講談社
- ⑤ 新潮現代国語辞典 第1版1刷 昭和60年11月10日 新潮社
- ⑥ 三省堂現代国語辞典 第1刷 1988年11月20日 三省堂
- ⑦ 集英社国語辞典(横組机上版) 第1版第1刷 1993年6月13日 集英社
- ⑧ 新辞源 昭和38年2月5日 保育社
- ⑨ 角川国語中辞典 初版 昭和48年12月20日 角川書店
- ⑩ 広辞林 第6版第1刷 1983年 三省堂
- ⑪ 明鏡国語辞典 初版第1刷 2002年12月1日 大修館書店
- ⑫ 広辞苑 第5版第1刷 1998年11月11日 岩波書店
- ⑬ 国語大辞典 第1版第1刷 昭和56年12月10日 小学館
- ⑭ 国語大辞典言泉 第1版第1刷 昭和61年12月20日 小学館
- ⑮ 日本語大辞典 第2版第1刷 1995年7月3日 講談社
- ⑯ 学研国語大辞典 第2版(机上版)第二刷 1990年4月20日 学習研究社
- ⑰ 日本語基本動詞用法辞典 初版 1989年3月1日 大修館書店
- ⑱ 大辞泉 増補・新装版 第1版第1刷 1998年11月20日 小学館

3. 程度副詞と体言修飾 — 「昔」を修飾する程度副詞 —

3-1 テーマ

「程度副詞の体言修飾について」(張 麗群 『日本語と日本文学』 第16号 平成4年2月 筑波大学国語国文学会)の論文に関して、以下の部分について考察する。

「昔」は絶対的な過去を表すものであるため、程度副詞の修飾を受ける場合、(中略) 度合大の程度副詞と共起しても、度合い小の程度副詞とは共起しない。例えば、

- (41) *a すこし昔
 *b やや昔

「昔」には度合い大の程度副詞だけが含まれ、

この論文では、「すこし昔」「やや昔」は非文になっている。しかし、「昔」が程度副詞の修飾を受ける場合、度合い大の程度副詞と共起するだけでなく度合い小の程度副詞とも共起すると感じた。

そこで、WWWにある膨大なデータを用いて、現代日本語において「昔」が程度副詞の修飾を受ける場合、度合い大の程度副詞と共起するだけでなく度合い小の程度副詞とも共起すること、つまり「すこし昔」「やや昔」が非文でないことを明らかにする。

3-2 方法

検索エンジンGoogle (<http://www.google.co.jp/>) の検索窓にキーワードを入れて検索にかけ、検索件数を記録する。検索したキーワードは、「すこし昔」「少し昔」「やや昔」「ちょっと昔」(検索件数と用例を約30例ずつ確認)「すこしむかし」「ややむかし」「ちょっとむかし」(検索件数のみ確認)の7つである。

3-3 検索結果

まず、「昔」が度合い小の程度副詞の修飾を受ける場合について述べる。

【表1】は、7つのキーワードの検索結果件数をまとめたものである。「すこしむかし」「ややむかし」「ちょっとむかし」の3つのキーワードは、他の4つのキー

ワードと比較すると検索件数が少ないが、「すこし昔」「少し昔」「やや昔」「ちょっと昔」の4つのキーワードの検索件数は、それぞれ400件以上存在している。

【表1】 各キーワードに対する検索件数

| | すこし 昔 | 少し昔 | やや昔 | ちょっと 昔 | すこし むかし | やや むかし | ちょっと むかし |
|---------|----------|-------|-----|-----------|------------|-----------|-------------|
| 検 索 件 数 | 573 | 7,860 | 410 | 25,300 | 31 | 1 | 177 |

以下、程度副詞が「昔」を修飾している例を「すこし」「少し」「やや」「ちょっと」のそれぞれに対して、一例ずつ挙げる。

- (1) 確かに本牧のこの辺りは、すこし昔まで米軍キャンプがあって

<http://www1.odn.ne.jp/~cam70590/novel/yamate/03.htm>

- (2) 最後の写真は、少し昔の航海用器具である。

<http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/Essay/0005.html>

- (3) 作成したのがやや昔なので画質はあまり良くないです。

<http://www.pheno.jp/menu0412.html>

- (4) で、ちょっと昔、超小型テレビが発売され始めた頃、

http://www.obun.co.jp/ningen/dg_evt/dg_evt_2.html

以下、同様に程度副詞が「昔」を修飾していない例を挙げる。

- (5) 今日はすこし昔のことをおもいだした。

http://www.kcat.zaq.ne.jp/aaahj103/hitorigoto/biwakol_page_1.htm

(思い出している時間の程度が「すこし」とも考えられる。)

- (6) 赤ちゃんてこんなだったかな?と少し昔を思い出しました。

<http://www.hokuriku.ne.jp/st471510/diary0204.html>

(思い出している程度が「少し」とも考えられる。)

- (7) やや昔の雰囲気をかもし出していた

<http://takuthan.hp.infoseek.co.jp/live.html>

(昔の雰囲気をかもし出している程度が「やや」とも考えられる。)

(8) なんか、ちょっと昔っぽい感じがまたするんだよな

<http://www.memorize.ne.jp/diary/35/02567/>

(昔っぽい感じがする程度が「ちょっと」とも考えられる。)

以上のように、「すこし昔」「少し昔」「やや昔」「ちょっと昔」の各キーワードに対して約30例ずつ用例を確認した。その結果をまとめたものが、【表2】である。「ちょっと昔」だけ、他の三つのキーワードに比べると割合は低いものの、「すこし昔」「少し昔」「やや昔」「ちょっと昔」の全てのキーワードに対して、それぞれの程度副詞が「昔」を修飾している割合が60%を上回っている。

【表2】程度副詞「すこし」「少し」「やや」「ちょっと」の場合の用例のまとめ

| | すこし昔 | 少し昔 | やや昔 | ちょっと昔 |
|--------------------------------------|------|-----|-----|-------|
| 確認した全用例数 (件) | 30 | 32 | 32 | 31 |
| 程度副詞が「昔」を修飾している用例 (件) | 23 | 26 | 23 | 20 |
| 程度副詞が「昔」を修飾していない用例 (件) | 7 | 6 | 9 | 11 |
| 確認した全用例数に対して程度副詞が「昔」を修飾している用例の割合 (%) | 76 | 81 | 71 | 64 |

(注) 「確認した全用例数に対して、程度副詞が「昔」を修飾している用例の割合」=程度副詞が「昔」を修飾している用例数÷確認した全用例数×100で計算し、小数点以下は切り捨てた。

また、「昔」が度合い大の程度副詞の修飾を受ける場合として、キーワード「ずっと昔」を同様に検索したところ、検索性数は36,500件であった。(9)は、その用例の一部である。

(9) そんな日々がなんだかずっと昔のようです。

<http://www.okhotsk.or.jp/atopynetwork/taiken.html>

3-4 結論・まとめ

以上より、「昔」が程度副詞の修飾を受ける場合、度合い大の程度副詞と共起するだけでなく度合い小の程度副詞とも共起することが証明され、「すこし昔」「やや昔」は非文ではないことも証明された。よって、張麗群氏が論文で述べてい

る「昔」は絶対的な過去を表すものであるため、(中略)度合大の程度副詞と共起しても、度合い小の程度副詞とは共起しない。」という部分は不適である。また、「昔」は度合い大の程度副詞とも共起することが確認できた。

つまり、「昔」は、度合い大の程度副詞(「ずっと昔」)とも、度合い小の程度副詞(「すこし昔」「少し昔」「やや昔」「ちょっと昔」)とも、共起することが明らかになった。

4. 「パーマをあてる」は関西特有の表現であるか

4-1 テーマ

『乱れているか? テレビの言葉〈新日本語の現場第2集〉』(橋本五郎監修・読売新聞新日本語取材班著 中公新書ラクレ 2004)のなかで、“「パーマをあてる」は関西特有の言い方である”と書かれてあるが、それが果たして正しいか否かをWWW検索により検証する。

[検証部分]:驚いたのは、共通語と思いこんでいた言い回しが関西特有の言い方だったことだ。「(髪に)パーマをあてた」が周囲に通じない。「パーマは『かける』ですよ」と言われて初めて気づいたそうだ。日本語の東西の“壁”はまだまだ厚い?

4-2 検証方法

「パーマをあてる」というキーワードを検索エンジンGoogleで検索し、この表現が用いられている各用例から使用者の都道府県・地域をそれぞれ割り出し、その結果から上記の言語事実を検証する。用例は、検索結果の先頭から200件分を分析する。

4-3 検索結果

※参照例:37

※使用例:163

〔使用地域不明〕75 〔使用地域判明〕88

| | | | | | | | |
|---------|----|-------|----|-------|---|-------|---|
| 〈推測・関西〉 | 14 | 〈関西〉 | 10 | 〈四国〉 | 1 | 〈九州〉 | 1 |
| 〈大阪府〉 | 25 | 〈兵庫県〉 | 9 | 〈京都府〉 | 7 | 〈三重県〉 | 2 |
| 〈和歌山県〉 | 1 | 〈奈良県〉 | 1 | 〈香川県〉 | 2 | 〈愛媛県〉 | 1 |

| | | | | | | | |
|-------|---|-------|---|----------------------|---|-------|---|
| 〈高知県〉 | 1 | 〈岡山県〉 | 1 | 〈広島県〉 | 1 | 〈島根県〉 | 1 |
| 〈愛知県〉 | 1 | 〈東京都〉 | 2 | 〈山形県〉 | 1 | 〈北海道〉 | 3 |
| 〈福岡県〉 | 2 | 〈熊本県〉 | 1 | 検索件数……461件（検索日：7/10） | | | |

※ 参照例……「パーマをあてる」という表現そのものについて言及・説明している記述。

※ 使用例…参照例以外、つまり「パーマをあてる」の自然な用例。

《注》・〈推測・関西〉としているものは、文中あるいはページ上のどこかに関西を示す直接の単語やなんらかの要素があるわけではないが、話し方（書き方）が関西弁である場合である。

- 〈関西〉〈四国〉〈九州〉としているものは、文中に出てくる地名や話し方（書き方）から、それぞれ関西、四国、九州の出身や居住であることはおそらく間違いないのだが、都道府県までは確定できない、というものである。
- 参照例として数えるべきか、使用地域不明なり大阪府なり、使用例として数えるべきか、判断に迷った用例がいくつかあった。「パーマをあてる」という表現をメインテーマとしているわけではなく、文章の中の途中・一部分で触れられているだけであるが、「パーマをあてる」という表現について言及してはいる、というものは、参照例ではなく使用例に入れるべきではないか、とも思ったからである。

それは、具体的には下の①～③のような用例である。

① パーマをあてる

この、「あてる」って関西弁なのかな？ 北海道では使いませんが、この表現グッときます。

〈<http://jyonjy.cocolog-nifty.com/page1/2004/02/>〉

② 先日テレビで「パーマをあてる」って言うのも関西だけやって言うてた

〈<http://www.rakuten.co.jp/hanatinmi-kitarou/496787/500330/>〉

③ 今関東に住んでるんですけど、神戸生まれの神戸育ちの関西人なんで、“パーマをかける”ことを「パーマをあてる」って毎回言ってしまう、みんなに突っ込まれてしまいます。

〈<http://www.metacolony.com/bbs/life/1668/>〉

①～③の用例以外でも、同様の理由で、参照と捉えるべきか迷ったものがあったが、それらの用例は、記入者の居住・出身地域が判明しているものについても、今回は全て参照例として数えることにした。

4－4 結論・まとめ

WWW検索によって得たデータから、「パーマをあてる」は大阪府、兵庫県、京都府など関西を中心に使用されている表現であるということがわかった。

したがって、検証の結果、“「パーマをあてる」は関西特有の言い方である。”という言語事実は正しいことが確認された。

(おぎの つなお 本学非常勤講師 ・かとう あや 本学3年・
ほんだ さやか 本学3年・たにぐち かおり 本学3年)